

始  
ま  
っ  
た



こ  
こ  
か  
ら



す  
べ  
て  
は



新作狂言「里見八犬伝」

# 八犬伝リターンズ

4作品一挙公演

三  
之  
章

「雷」

「八犬伝 犬士列伝貳」

令和三年十一月十四日

午後二時 開演

袖ヶ浦市民会館 大ホール

狂言「雷」 シテ小笠原弘晃 アド小笠原由祠 後見 山下浩一郎

休憩 二十分

新作狂言「八犬伝 犬士列伝弐」

・語り 先生 小笠原由祠

生徒 山下凜々花

・三犬士集うノ段

文吾兵衛 能村晶人

信乃 小笠原弘晃

現八 野村拳之介

小文吾 青山郁彦

・犬士自らの宿命を知るノ段

信乃 小笠原弘晃

現八 野村拳之介

小文吾 青山郁彦

妙真 TAKAKO

ぬい 杉本茜

房八 安田麦

・雷鳴轟き小児奪うノ段

妙真 TAKAKO

照文 山下浩一郎

舵九郎 河口博昭

雷壱 鈴木修平

雷弐 青山郁彦

雷参 前川剛志

囃子方

笛 宮川悦子

ヴァイオリン 磯部舞子

、大 能村晶人

照文 山下浩一郎

玉梓 ヤマザキーナ

村人甲 伊後澤利夫

村人乙 安田麦

村人丙 杉本茜

村人丁 小笠原弘晃

村人戊 野村拳之介

玉梓 ヤマザキーナ

コントラバス 吉野弘志

タブラ 吉見征樹

音楽 一噌幸弘

演目解説

「雷」（かみなり）

都の敷医者が東国に下る途中、広い野に来  
かかるとにわかに空が曇り雷が飛び出して医  
者の前に倒れる。雷は雲の間から落ちて腰を  
打ったと云い、ひれ伏している医者に治療を  
命ずるが……。

「八犬伝 犬士列伝弐」

芳流閣での死闘の末、楼閣の屋根から落ちた犬塚信乃  
（しの）と犬飼現八（げんぱち）は、利根川を流されて、  
下総の行徳へと流れ着く。二人を見つけ介抱したのは、  
旅籠屋を営む文吾兵衛（ぶんごべえ）とその息子で現八  
の義兄弟である犬田小文吾（こぶんご）であった。現八  
と小文吾もまた同じ玉と痣をもつ犬士で、義兄弟の契り  
を結び喜ぶ信乃たちであったが、信乃が破傷風を発症し  
て倒れてしまう。信乃を救うには若い男女の生き血が必  
要で、お尋ね者となった信乃をかくまったために囚われ  
た文吾兵衛の命を救うには信乃の首が必要。決断を迫ら  
れた悩める小文吾に、死霊玉梓の声が聞こえてきて……。  
不思議な力によって導かれ集いし犬士たちが、過去の因  
縁と自らの宿命を知る物語。

スタッフ

作・構成

小笠原由祠

総合演出

舞台監督 前田文洋

舞台監督助手 堀田興生

照明 岩本光正（株式会社フリーウェイ）

音響 伊東貴治（株式会社フリーウェイ）

映像 デジタルデザインスタジオ株式会社

協力 公益財団法人 千葉県文化振興財団

株式会社 萬狂言

株式会社 モンドバラレッコ

株式会社 玉ひで

千葉若菜の会・東京若菜の会

制作・票券 加藤充華

当日運営 富田愛子・櫻井恵美

プロデューサー・意匠 緒方辰之介

企画・主催 Atelier OGA.

